

平成28年度実施「第六次千葉県障害者計画策定に向けた関係団体からの御意見・提案等」

平成28年度実施「第六次千葉県障害者計画策定に向けた関係団体からの御意見・提案等」							資料4
NO	団体名	第六次千葉県障害者計画に期待すること	「第六次計画に期待すること」の、第五次計画での関係施策	関係課	担当 専門部会	第六次計画位置付の視点 ①障害者基本計画に施策の位置付けがあるか。 ②障害福祉計画基本指針に施策の位置付けがあるか。 ③第五次計画に位置付があり継続すべき施策か。 ④議会答弁や団体要望の回答などで県として取組むこととしている。 ①から④に該当するものは「取組みの方向性への位置付」を各部会で検討する。 (右欄に○を付ける。)	第六次計画 「取組みの方向性」 へ位置付を検討○
72	千葉県特別支援学校PTA連合会	○就労支援について、特別支援学校を卒業する生徒の就職支援のため、拠点校にコーディネーターが配置されている。学校としても就労支援をしているが他団体などで就労支援の取組みをしているところとの繋がりがあればよりよい支援ができる。就職の件は保護者の関心も高い。	⑥障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実、(4)支援機関や関係機関のネットワークの構築及び情報共有化、関係機関の連携強化を促す仕組み作りについて検討します。	障害福祉事業課	就労支援	③ 6-(4)-II-①	○
88	千葉県特別支援学校長会	○特別支援学校卒業後の生活を支える地域生活の支援、支援拠点の更なる充実を図ってほしい。就労後や入所施設、通所施設、グループホーム等の生活の充実をはかることで卒業後の社会自立の充実につながることを考えられる。	⑥障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実、(1)就労支援・定着支援の体制強化	障害福祉事業課 事業支援班	就労支援	②③ 1-(1)グループホーム等の充実及び地域生活支援拠点等の整備 1-(2)日中活動の場の充実	○
89	千葉県特別支援学校長会	○就労継続支援B型事業所の拡大・支援強化、作業内容の充実、賃金の向上。卒業生が研修を受けても定員に空きがない。	⑥障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実、(5)福祉施設等で生産活動・福祉的就労を行う障害のある人の賃金(工賃)向上への取組の推進	障害福祉事業課 事業支援班	就労支援	③ 6-(5)-II-① 1-(2)日中活動の場の充実	○
90	千葉県特別支援学校長会	○一般就労に向けて、企業への支援も必要。ジョブコーチ等、定着支援の強化。	⑥障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実、(3)障害のある人を雇用する企業等への支援	産業人材課	就労支援	③ 6-(3)-II	○
107	特定非営利活動法人千葉県精神障害者家族会連合会	○就労継続支援B型について、13,660円(27年度実績)となっているが、地域の精神障害者の就労施設では、その半分程度の所もある。ここに記載されている数字は、障害者すべての平均と考えられるので、精神障害者の実態を調査し、精神障害者の特性を考慮し、実態に即した、就労支援策を講じる必要があります。		障害福祉事業課 事業支援班	就労支援	①③ 6-(1)-II-①	○
108	特定非営利活動法人千葉県精神障害者家族会連合会	○地域活動支援センターから就労継続支援B型への移行支援、事業者への啓発事業の強化をする必要があります。また、症状に合わせて、多様な労働形態(短時間労働、勤務日数の調整、自宅勤務等)を検討する必要があります。		障害福祉事業課 地域生活支援班	入所・地域就労支援	③ 6-(1)-II-①	○
109	特定非営利活動法人千葉県精神障害者家族会連合会	○精神障害者の一般企業への雇用の定着が進んでいない。雇用率を上げるためには、雇用後の支援(ハローワーク、就労施設などの就労支援など)を強化する必要があります。また、雇用企業への研修などを強化する必要があります。	⑥障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実、(1)就労支援・定着支援の体制強化、③精神障害のある人を支援対象とする就労移行支援事業所の一層の拡充とともに、障害者就業・生活支援センターをはじめとする支援機関による就職後の定着支援体制の充実を強化します。	障害福祉事業課 事業支援班	就労支援	①③ 6-(1)-II-① 6-(3)-II-①	○

NO	団体名	第六次千葉県障害者計画に期待すること	「第六次計画に期待すること」の、第五次計画での関係施策	関係課	担当 専門部会	<p>第六次計画位置付の視点</p> <p>①障害者基本計画に施策の位置付けがあるか。</p> <p>②障害福祉計画基本指針に施策の位置付けがあるか。</p> <p>③第五次計画に位置付があり継続すべき施策か。</p> <p>④議会答弁や団体要望の回答などで県として取組むこととしている。</p> <p>①から④に該当するものは「取組みの方向性への位置付」を各部会で検討する。</p> <p>（右欄に○を付ける。）</p>	第六次計画 「取組みの方向性」 へ位置付を検討○
192	公益社団法人千葉県肢体不自由児協会	肢体不自由の障害がある人が一般就労しても、職場で働く同僚の理解が不足しているために心の病になり就労を継続できない人がいる。企業側の状況として総務関係部署の理解があっても一緒に働く人の理解を促進しなくてはならない。		障害福祉事業課 事業支援班	就労支援	③ 6－（３）－Ⅱ－①	○
197	一般社団法人千葉県高齢者福祉施設協会	障害福祉サービス事業所から社会福祉法人（特別養護老人ホーム）施設の関連で仕事をお願いしているが、事業所と発注者と直接やり取りをするのではなく、何等かの問題が発生した際に中間に入り、連絡調整してくれる事業所が存在するとよい。		障害福祉事業課 事業支援班 高齢者福祉課	就労支援	③ 6－（５）－Ⅱ－③	○
212	千葉県特例子会社連絡会	○ここ２年程度で特別支援学校における職業教育の充実とネットワークの充実が進んできた。特別支援学校を卒業した方を企業が受け入れる際の当事者に係る障害の特性に関する情報が不足していて特別支援学校に確認するケースが多いので、事前に情報提供があるとよい。 ○特別支援学校と企業との交流並びに情報の共有化を更に図っていく必要があります。	6障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実、（４）支援機関や関係機関のネットワークの構築及び情報共有化	障害福祉事業課 事業支援班 特別支援教育課	就労支援	③ 6－（１）－Ⅱ－②	○
213	千葉県特例子会社連絡会	○障害者就業・生活支援センター事業の充実。相談件数の増加に対応できるように障害者就業・生活支援センターにおける課題、「センターでやるべきこと」と「企業でやるべきこと」のすみわけを整理、また相談体制の強化を図っていく必要があります。とくに、社員の生活支援の部分については企業としてなかなか入り込めないゾーンであり、センターに対する期待感は大いだと思います。 ○各センターにおけるサービスの提供を平準化する必要があります。	6障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実、（２）障害者就業・生活支援センターの運営強化	障害福祉事業課 事業支援班 産業人材課	就労支援	③ 6－（２）－Ⅱ－①	○
214	千葉県特例子会社連絡会	○企業支援員（障害者雇用アドバイザー）事業の充実。障害のある人の雇用の拡大と継続雇用を推進するため、企業に対して支援を行う企業支援員の拡充を期待します。 ○今後、法定雇用率が上がることに伴い、精神障害の方の就職数が増加することが増加すると考えられる。必要に応じて福祉サービスへの移行が必要となるケースが増加すると考えられることから、就労から福祉サービスへ移行する支援の在り方の検討が必要。	6障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実、（３）障害のある人を雇用する企業等への支援	障害福祉事業課 事業支援班 産業人材課	就労支援	③ 6－（３）－Ⅱ－① 6－（６）－Ⅱ－①	○
215	千葉県特例子会社連絡会	○障害者就業・生活支援センターと綿密に連携するとともに、地域の支援機関や特別支援学校とも連携しながら障害者雇用の更なる拡大に協力していきたいと考えます。	6障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実、（４）支援機関や関係機関のネットワークの構築及び情報共有化	障害福祉事業課 事業支援班	就労支援	③ 6－（１）－Ⅱ－② 6－（２） 6－（３）	○